

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 全体評価</p> <p>【原文】 「この目標達成に向けて学長のリーダーシップの下、環境・エネルギー・食・被ばく医療に係る教育研究体制の強化を図るため、<u>関連する研究所を設置し取組を実施する</u>など、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】 のとおり変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 「この目標達成に向けて学長のリーダーシップの下、環境・エネルギー・食・被ばく医療に係る教育研究体制の強化を図るため、<u>大学の自助努力により北日本新エネルギー研究所、白神自然環境研究所及び被ばく医療総合研究所を設置し取組を実施する</u>など、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。」</p> <p>【理由】 北日本新エネルギー研究所、白神自然環境研究所及び被ばく医療総合研究所は、本学が自助努力により設置したもので、これにより本学の「機能強化」の柱である「環境・エネルギー・食・被ばく医療」に係る教育研究体制の基盤強化が図られるとともに、東日本大震災への対応においては、特に被ばく医療総合研究所が中心的役割を担った。 3 研究所は本学の特徴的な組織であり、その設置は平成22年度の業務実績において</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p> <p>【理由】 事実関係に即した修正。</p>

特筆すべき事項であることから、【修正文案】のとおり変更願いたい。

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 全体評価</p> <p>【原文】 「業務運営については、「被ばく状況調査チーム（サーベイチーム）」の大人数編成で長期に渡る派遣計画を策定し被災地へ派遣しており、大学院保健学研究科及び被ばく医療総合研究所の教員、附属病院の医師、看護師・・・・・・・・（中略）高度の専門的研修を受けた者となっている。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】 のとおり変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 「業務運営については、「被ばく状況調査チーム（サーベイチーム）」の大人数編成で長期に渡る派遣計画を策定し、<u>震災直後の3月15日から被災地へ派遣しており、大学院保健学研究科及び被ばく医療総合研究所の教員、附属病院の高度救命救急センター長をはじめ医師、看護師・・・・・・・・（中略）高度の専門的研修を受けた者となっている。</u>」</p> <p>【理由】 本学は、我が国有数の原子力産業基地である青森県における唯一の国立大学として、放射能事故に対する安心・安全のための体制の整備を行ってきた。 緊急被ばくに関しては、被ばく医療を担う「高度救命救急センター」、放射線被ばくの基礎研究を行う「被ばく医療総合研究所」、及び教育・人材育成を行う「医学研究科及び保健学研究科」において様々な取</p>	<p>【対応】 全体評価の業務運営についての申立内容の趣旨も踏まえ、下記のとおり修正する。</p> <p>『業務運営については、「被ばく状況調査チーム（サーベイチーム）」の大人数編成で長期に渡る派遣計画を策定し、震災直後の3月15日から被災地へ派遣しており、大学院保健学研究科及び被ばく医療総合研究所の教員、附属病院の医師、看護師及び診療放射線技師等に加え、事務系職員の加わるチーム編成となっており、大部分が国内外で高度の専門的研修を受けた者となっている。』</p> <p>【理由】 事実関係に即した修正。 なお、法人の組織的な取組として評価していることから、特定の職名については削除している。</p>

組を行うとともに、これらを横断的に総括し、本学の緊急被ばくに関する医療、教育及び研究等に対する全学的方針と緊急時の決定を下すための組織として、平成22年8月、学長を委員長とする「弘前大学放射線安全機構」を新たに設置した。

前述のとおり、本学では放射能事故が発生した場合に備えて、事前に体制の整備を進めていたことから、東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所事故発生の際には、震災直後の3月15日から「被ばく状況調査チーム（サーベイチーム）」を派遣することができ、かつ、大人数編成で長期に渡るチーム編成が可能となったものである。また、放射能汚染地域のサーベイチームを総括する医師として、原子力災害現地対策本部・Jビレッジへ本学高度救命救急センター長及び被ばく医療総合研究所教員の派遣も行っている。

以上のことを勘案いただき、【修正文案】のとおり変更願いたい。

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 2 項目別評価 I. 業務運営・財務内容等の状況 (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>【原文】 ○「被ばく状況調査チーム（サーベイチーム）」の大人数編成で長期に渡る派遣計画を策定し、平成22年度は6チーム36名（延べ145名日）を被災地へ派遣しており、大学院保健学研究科及び被ばく医療総合研究所の教員、附属病院の医師、看護師・・・（中略）高度の専門的研修を受けた者となっている。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】 のとおり変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 ○「被ばく状況調査チーム（サーベイチーム）」の大人数編成で長期に渡る派遣計画を策定し、<u>震災直後の3月15日から</u>平成22年度は6チーム36名（延べ145名日）を被災地へ派遣しており、大学院保健学研究科及び被ばく医療総合研究所の教員、附属病院の<u>高度救命救急センター長をはじめ</u>医師、看護師・・・・・・・・（中略）高度の専門的研修を受けた者となっている。」</p> <p>【理由】 「1 全体評価」への申立てに記載のとおり。</p>	<p>【対応】 業務運営の改善及び効率化に関する目標での申立内容の趣旨も踏まえ、下記のとおり修正する。</p> <p>『○「被ばく状況調査チーム（サーベイチーム）」の大人数編成で長期に渡る派遣計画を策定し、震災直後の3月15日から平成22年度は6チーム36名（延べ145名日）を被災地へ派遣しており、大学院保健学研究科及び被ばく医療総合研究所の教員、附属病院の医師、看護師及び診療放射線技師等に加え、事務系職員の加わるチーム編成となっており、大部分が国内外で高度の専門的研修を受けた者となっている。』</p> <p>【理由】 前述のとおり。</p>

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 2 項目別評価 I. 業務運営・財務内容等の状況 (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>【原文】 【評定】 中期計画の達成に向けて<u>順調に進んでいる</u> (理由) 年度計画の記載19事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、<u>上記の状況等を総合的に勘案したことによる。</u></p> <p>【申立内容】 【修正文案】 のとおり変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 【評定】 中期計画の達成に向けて<u>特筆すべき進捗状況にある</u> (理由) 年度計画の記載19事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるほか、<u>大学の自助努力により北日本新エネルギー研究所、白神自然環境研究所及び被ばく医療総合研究所を設置して具体の成果が表れていることや、被災地への「被ばく状況調査チーム(サーベイチーム)」の大人数編成で長期に渡る派遣が行われていること等を総合的に勘案したことによる。</u></p> <p>【理由】 「1 全体評価」への申立てに記載のとおり、本学の自助努力により3研究所を設</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 平成22年度において、研究所を設置し取組を実施したことや、被災地への「被ばく状況調査チーム(サーベイチーム)」の大人数編成で長期に渡る派遣が行われていることは理解しており、それらを踏まえた文案としているため。</p>

置し、東日本大震災への対応や、具体の成果が表れており、また、緊急被ばくに係る体制整備、並びに東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所事故への本学の取組は、平成22年度の業務実績において特筆すべき事項であることから、当該項目の評定を再考いただき、【修正文案】のとおり変更願いたい。